



令和元年9月9日

各位

会社名 株式会社平山ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 平山 善一  
(コード番号: 7781 東証JASDAQ)  
問合せ先 グループ戦略本部  
(TEL: 03-5769-4680)

## 令和元年6月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、決算の取り纏め過程において、平成30年8月14日に発表いたしました第53期(令和元年6月期)の連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 令和元年6月期連結業績予想との差異について

##### (1) 令和元年6月期連結業績予想との差異(平成30年7月1日～令和元年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A) (平成30年8月14日)	百万円 20,000	百万円 300	百万円 300	百万円 400	114.23
今回実績値(B)	20,841	202	245	364	104.80
増減額(B-A)	841	△98	△55	△36	
増減率(%)	4.2	△32.6	△18.3	△9.0	
(ご参考)前期実績 (平成30年6月期)	13,593	214	214	348	101.41

##### (2) 差異の理由

売上高は、当社連結子会社であるFUNtoFUN株式会社が計上した売上取引の实在性に係る第三者委員会による調査結果を受けての訂正により56百万円減少となりましたが、主力のインソーシング・派遣事業において、医療機器、輸送用機器、住設関連、食品関連分野等を中心に、受注は引き続き堅調に推移したことから、前回予想よりも増収となりました。

営業利益は、FUNtoFUN株式会社のれん償却費、IoT事業等の人員拡充や前年を大幅に上回る技術者および技能工の全国配置に伴う経費など、翌年度の成長のための販売費及び一般管理費の積極的な支出を行ったことから、前回予想を下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、消費税等簡易課税差額収入が予想数値より多く発生したものの、減損損失が発生し、前回予想よりも減少しました。

この結果、売上高は208億41百万円(計画比4.2%増)、営業利益202百万円(計画比32.6%減)、経常利益245百万円(計画比18.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益364百万円(計画比9.0%

減) となりました。

以上